

実践記録

学校名/学年	小学校／5年	
教科等・単元名	学級活動：このことばで相手に気持ちが伝わるかな？	
キーワード	メール 携帯電話 コミュニケーション 伝え方	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	☐ 情報社会の倫理 ☒ 法の理解と遵守 ☐ 安全への知恵 ☐ 情報セキュリティ ☐ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字・内容	c：情報社会でのルール・マナーを遵守できる
	中目標項目数字・内容	c2-1：情報の発信や情報をやりとりする場合のルール・マナーを知り、守る
授業会場	☐ パソコン教室 ☒ 普通教室 ☐ 特別教室〔 〕 ☐ その他〔 〕	
学習の目標	・文字だけで気持ちを伝えるときに気をつけるべきことを考える ・携帯メールでの問題点を知り、よりよい使い方を考える	
使用教材	教材名	①事例で学ぶNetモラル ②ちょっと待ってケータイ DVD 映像ストリーミング
	製作者	①広島県教科用図書販売株式会社 ②文部科学省 エル・ネット
	入手先（URL）	長野市情報モラルポータルサイト「事例で学ぶNetモラル」 http://www.elnet.go.jp/elnet_docs/keitai-dvd.htm

○展開

	学習活動	指導 評価◎
導入	1 映像クリップを視聴後、2人の「いいよ。」に込められた気持ちを考える。	・視聴後、場面や状況を振り返るためキーシーンを掲示し確認する。 ◎意味が違ったために誤解を招いてしまったことを確認する。
展開	2 じゅんはどうしたらあきらかにきちんと伝えられたのか考え、話し合う。 3 文字だけで伝えるとき気をつけないといけないことについて考え、まとめる。	・別の方法があったか、同じ方法でもどういう伝え方がよかったなど、多くの場合について考えさせる。 ・まとめ映像クリップで確認した後、出された意見をまとめていく。
おわり	4 DVD ストリーミング「ちょっと待ってケータイ」を視聴し、携帯電話メールの怖さについても考える。	◎ツールを便利に利用することだけに目を向けるのではなく、相手のことを考えてやりとりしていくことが大切だと気づいたか。

○授業の成果

- ・単なるツールの使い方だけでなく、コミュニケーションの基本を学ぶ機会となった。
- ・子どもたちが興味を持ち始めた携帯電話に対して、それを利用する心構えについてふれておく学習になりよかった。「最初は携帯もいいなと思っていたけど、メールのやりとりで友だち関係がよくなってしまふことがあるので、こわい物だなと思った。」という感想があった。

○指導のポイント・留意点

- ・後半部分を丁寧に扱って1時間の学習とすることも可能だと思う。